



萌木 9月号



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和3年9月14日発行

～自尊・立志・感動～

次の一步をどこに

校長 山田 勝

新型コロナウイルス感染拡大に緊急事態宣言の延長により、日々新たな対応へのご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。調布市立学校では、夏季休業日が9月5日まで延長され、始業式後の7日から10日までオンライン授業を行いました。メールを中心とした連絡にも関わらず、各ご家庭におかれましてもオンライン授業への対応等ご協力いただきまして、ありがとうございました。

オンライン授業期間中は、朝・帰りの学活のみ google meet を活用し担任と生徒が顔を合わせ授業の確認や感想の発表などを行いました。meet に参加できなかった生徒には電話連絡などで確認し、全校生徒の状況を把握しました。各教科の時間は、クラスごと google classroom を通して指示された課題に一人一人が取り組み、授業後半で示される解説プリントや動画で授業内容を振り返りました。できることと、こういうことがもっとできるとよいなということがはっきりした取り組みだったと思います。

また、6日のオンライン始業式では、各教室にいる生徒に現在の対応の意味と、今・これから自分たちにできることについて、話をしました。

37日間の予定だった夏休みが10日延長されて、47日ぶりに生徒の皆さんが七中に戻ってきてくれました。

1学期の終業式では、前向きに明るく夏休みの生活を送ってほしいとお話ししましたが、どうだったでしょう。特に後半は感染が拡大し、身の縮まる思いの中での生活を送った人も多かったのではないのでしょうか。感染拡大はテレビの中のこと、仮想世界でのことのような捉え方があったものが、身近な自分事として感じられるようになりました。

調布市では夏休みが延長され、オンライン学習にも取り組みます。7月までと私たちを取り巻く感染状況が違うのだということ、しっかり認識しましょう。調布市でも12歳以上の希望者へのワクチン接種が始まりましたが、夏休み以降20歳未満の感染者数が他の年代に比べ特に増加傾向にあります。市内の小学生や中学生にも感染した人が複数人出ています。そのような状況ですので、生徒の皆さんの命と健康を守るために、夏休みが延長され、オンライン学習期間を設けたのです。学校では、生徒の皆さんの生命・健康を守ることと、生徒の皆さんの学びを止めないための取り組みを進めていきます。人と人の接触を減らし人の動きを抑える、緊急事態宣言の呼びかけを今一度認識していきましょう。

それでは具体的に私たちが取り組むことはどのようなことがあるのでしょうか。それは、感染しない・感染を広げない行動をとることです。手洗い・マスク・三密の回避。今まで言われていたことにしっかり取り組んでください。2学期の予定が2週間削られてしまいました。3年生の修学旅行も延期することとしました。学習内容を含め、やるべきこと・できることの見極めが一層大事になります。大きな一歩を踏み出せず、もどかしいところもありますが今できること・今やるべきことにしっかり取り組んでいきましょう。

始業式で、生徒の皆さんにさあ頑張ろう、前を向いて明るく成長していこうと呼びかけられず、安心して成長の場を提供できずもどかしい思いです。このような中でも、このような時だからこそ、皆さんにはしっかり成長してほしいと思います。

定石(跡)【囲碁や将棋の世界で、次はこうしたほうが良いと研究された一手のこと】通りが通用しないコロナ禍の中で、どのよう学校生活で、どのように生徒が成長していく方向を示してけるのか。成長のために次の一歩をどこに向けて踏みしめていけるのか。制約のある中だからこそ、一人一人が自分のことをしっかり考え判断していく環境ではあると思います。生徒が成長できる環境をできる限り整えていきたいです。

生徒一人一人が、周りに流されず、自分の目標を定め自分を成長させる方向に、次の一歩をしっかりと踏み出してほしいと思います。

2学期始業式を行いました。

コロナ感染症の拡大を受けての緊急事態宣言中の中、2週間遅れで始業式を行いました。感染対策のため、各クラスでの始業式となりました。オンラインでの山田校長・生活指導主任の話の後、新しくみえられた国語科の高橋先生の挨拶もありました。

学級活動では、夏季休業中の宿題を集めたり、Chromebook を使い、オンライン授業の受け方を勉強したりしました。



オンライン授業を行いました。

9月7日(月)～10日(金)まで、オンラインで授業を行いました。朝の会と帰りの会は、Chromebook のmeet機能を使い、生徒全員の顔が見える状態で会を行うことができました。授業も各クラスのクラスルームを使い、課題の提示を行い、最後に担当教員の説明がありました。生徒は、自分のクラスの授業に入り、一生懸命課題をこなしていました。



ゆめおり陸上クラブの出前授業を行いました。

調布市では、2020東京オリンピック・パラリンピック大会を契機として、小・中学校の児童・生徒に、スポーツや運動に対して興味・関心をもたせ、体力や運動能力を向上させることを目標に出前授業を企画しています。本校では、9月13日に3年男子に出前授業を行いました。講師は、協カスポーツ団体の「ゆめおり陸上クラブ」のスタッフ6名です。どなたも国内大会や国際大会で活躍しており、世界陸上競技連盟コーチの有資格者です。今回の授業では、ハードル走を指導していただきました。超一流のコーチ・選手からのアドバイスや実技を目の前にして、陸上に対する興味を高めることができました。9月16日には3年女子が授業を受ける予定です。



高橋満里奈先生が着任しました。

8月上旬より国語科の橋本彩子主任教諭が産休をとることになりました。橋本先生に代わり、高橋満里奈教諭が着任しました。あいさつ文を載せます。

2学期から着任しました高橋満里奈です。2学年に所属し、1年生と2年生の国語科の授業を担当します。以前は小学校に隣接した学童で勤務しており、学校現場は少し知っていたものの、中学校はまた異なる雰囲気では緊張していました。しかし、夏季休業中でも積極的に生徒のみなさんがあいさつしてくれました。そのことがとても嬉しく、元気で明るい素敵な学校だと感じています。私もみなさんと同じように元気に励んでいきたいと思えます。これからどうぞよろしくお願いいたします。